

JACIC news

2022

10月号/No.401

JACIC 一般財団法人日本建設情報総合センター

地方便利

北海道地方センター活動報告

北海道地方センターは、全道179市町村を担当地域として、i-Construction、建設DXの推進、JACICクラウドの定着と普及、公共調達のための情報提供、支援を目指して国の発注機関や地方公共団体を主体に活動を行っています。令和4年度現在までの主な活動を紹介させていただきます。

● 令和4年度 第13回 北海道地方コアシステム連絡会議の開催

電子入札コアシステムをご利用いただいている団体の皆さまのご参集により7月8日（金）に開催いたしました。会議では、電子入札コアシステムの機能や運用の改善に向けて、電子入札コアシステム開発コンソーシアム事務局から「コアシステムに関する政府の動向」、「コアシステム関連技術」等についてご説明と情報提供をさせて頂き、ご意見、ご要望を共有いたしました。一昨年、昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため、資料回付により行いましたが、本年度はご利用の全ての団体にお集まりいただいていたことができました。



● 北海道土木・建築ICT促進展への後援

イベントランド北海道2022 実行委員会の主催による「北海道土木・建築ICT 促進展」が6月8日（水）～6月9日（木）の2日間にわたりアクセスサッポロを会場として開催されました。構成団体は（一財）札幌産業流通振興協会、NPO法人地域活性化貢献会議、片桐機械(株)、日建片桐リース(株)、北海道オフィス・システム(株)、(株)レンテック、(株)レンタコム北海道。後援は国土交通省国土技術政策総合研究所、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市、（一社）北海道建設業協会、（一社）日本建設機械施工協会 北海道支部、（一財）日本建設情報総合センター 北海道地方センター、（一社）日本イベント産業振興協会、（株）MICEジャパン 他が賛同いたしました。

会場では、最先端の技術や機器等を紹介。また、発注機関をはじめ幅広い方々によるセミナーも行われ、3200人を超える多盛大な催しとなりました。



● 建設技術担い手育成プロジェクトへの参加

「建設技術担い手育成プロジェクト」が（一社）日本建設機械施工協会（JCMA）北海道支部の主催により令和4年7月7日（木）苫小牧工業高等専門学校で開催され土木科の学生約40名が受講しました。講義ではi-Construction、建設DXに係わる建設業の現状と今後の進むべき方向について知識と理解を深めるとともに、レーザースキャナ計測を実施し最先端の技術について学びました。JACICは事務局として参加しています。



（北海道地方センター長 田村順一）

JACIC からのお知らせ

令和4年度(一財)日本建設情報総合センター研究助成決定

一般財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）では、建設分野における学術の振興を目的として、情報・システムを活用した調査研究を対象に、平成10年度からこれまで累計223件、総額約5.4億円の研究に助成を実施しております。

令和4年度は、4月15日より公募を開始し、期限の6月30日までに19件の応募がありました。近年、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて応募件数が減少していったので、今年度は関係学会等に幅広くご案内しましたところ、様々なバックボーンを持つ研究者に関心を持っていただき、約8割（15件）が今回初めての応募でした。

8月3日に、学識経験者を含めた委員による審査委員会を開催し、厳正な審査の結果、7件に対し研究助成を実施することを決定しました。

研究の対象課題については、今年度も7つのテーマを設定しました。特に応募が多かったのは、「ICT等に関する技術（AI、5G/IoT、XR（VR、AR、MR、SR）、センシング技術、画像処理技術等）の建設分野における活用に関する調査研究」と「建設分野の各プロセス（測量、調査、設計、施工、維持管理、防災対応等）及び建

設現場での危機管理時の業務継続におけるICT活用に関する研究」でした。

応募者の所属については、大学等の教育機関が大部分を占めており、民間企業からの応募は、19件中4件でした。

また、若手の研究者による今後の研究の発展・充実に期待して、平成29年度から若手研究者枠（35歳以下）を設けており、今年度も2件を採択しております。

採択された研究については、JACICが主催する成果報告会だけでなく、国内外を問わず広く学会等において成果を発信し、あわせて学術論文として投稿することで、建設情報システムの発展に大いに寄与することを期待します。

【審査委員会の委員】

大橋 正和（中央大学名誉教授）

島崎 敏一（日本大学名誉教授）

月尾 嘉男（東京大学名誉教授）

深澤 淳志（理事長）

伊藤 英隆（理事）

野田 勝（理事）

期間・金額	研究助成対象者	研究テーマ
2年間 600万円以内	大阪大学大学院 工学研究科 准教授 貝戸清之	3次元点群データの活用による斜面・法面管理の効率化・高度化
1年間 300万円以内	香川大学 地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打千雅子	防災 DX に向けた災害教訓のマルチレイヤー化に関する研究
	東京電機大学 総合研究所 教授 小林亘	冠水センサと機械学習を用いた道路冠水予測システムの開発
1年間 100万円以内	香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授 林和彦	3次元モデルとメタバースを活用したインフラメンテナンス技術に関する教育手法の構築
	東京理科大学 土木工学科 教授 寺部慎太郎	若年層の市民参加促進のためのインターネットを活用した意見提出喚起手法
若手研究者 1年間 100万円以内	名古屋工業大学大学院 工学研究科 助教 日高菜緒	点群データを活用した鋼製橋脚の FEM モデル自動構築および解析結果の検証
	東北大学 流体科学研究所 特任研究員 紀佳淵	下水処理施設における機械学習の利活用に関する予測手法の開発

（建設情報研究所 主任研究員 清水 知子）

■編集・発行 一般財団法人日本建設情報総合センター

〒107-6114 東京都港区赤坂5丁目2番20号 赤坂パークビル14階
TEL. (03)3505-2981(代表) FAX. (03)3505-0414
ご意見・お問い合わせ先: <https://www.jacic.or.jp/about/syozai/syozai.html>
JACICホームページ <https://www.jacic.or.jp/>



編集・構成 日本印刷(株)
TEL. (03)5911-8660